

令和5年度 入学者選抜におけるアドミッションポリシー等について

学校名	アドミッションポリシー	選抜の種類	学力検査問題の種類			倍率のタイプ
			国語	数学	英語	
鶴見商業	本校は、愛（人を思いやる気持ち）・誠（人に誠意を尽くす姿勢）・礼（人への礼儀を忘れない態度）の校訓をふまえ、社会の様々な場面で活躍できる人材の育成を目標としています。 将来のビジネスシーンに必要な基礎・基本を習得し、何事にも前向きに取り組むことのできる生徒を求めます。 1) 商業の学びに興味・関心があり、学校生活を意欲的に取り組む生徒 2) ビジネスマナーを身につけるために必要なルールやマナーを守る意識の高い生徒 3) ビジネス活動に必要な資格取得に向けて一生懸命に努力することのできる生徒 4) 豊かな人間形成に必要な学校行事や部活動などに積極的に参加することのできる生徒	一般	B	A	B	IV

学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

※ 一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種類	特 徴		
	国 語	数 学	英 語
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。

※ 英語の学力検査は、令和3年4月26日に通知した「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和3年4月改訂）」から出题します。

※ A、B問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約20%とします。

※ 一般入学者選抜における学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率のタイプ

総合点を算出するにあたって、学力検査の成績及び調査書の評定にかける倍率は、下表のとおり5つのタイプである。

倍率のタイプ	学力検査の成績にかける倍率	調査書の評定にかける倍率	参 考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	